(0031810)A
E762Z564G01
E762Z564H50

MITSUBISHI 三菱蛍光灯器具 取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきまして
ありがとうございました。

施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの「取扱説明書」を使用者さ
まにお渡しください。

お客さまへ

ご使用前に、正しく安全にお使いいただくために
この「取扱説明書」を必ずお読みください.
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

形名

８６W形	１１４W形
CPHZ86022EL	CPHZ11022EL
CPHZ86032EL	CPHZ11032EL

製造会社 三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
☎(0467)41-2729 FAX(0467)41-2786

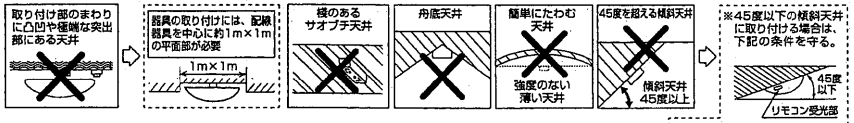
安全のために必ずお守りください

E762Z564G01
E762Z564H50

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

●次のような場所には取り付けない。(この器具は天井取付専用です。)

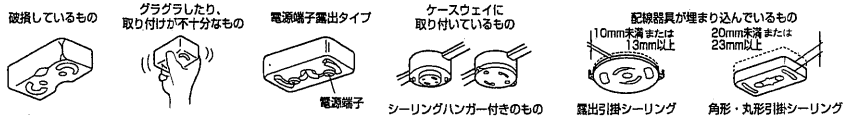
取付禁止	指定以外の場所には器具が取り付かない場合や、取り付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因。



- 傾斜方向の下側にリモコン受光部側がくるように取り付ける。
- 引掛シーリングボディに器具の荷重が加わらないように本体を**木ねじ**で必ず固定する。

●次のような配線器具(引掛シーリングボディ)には取り付けない。

取付禁止	火災・感電・落下してけがの原因。 次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼する。 (※素人工事は法律で禁じられています。)



※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付ける。

●器具を分解や改造したり、部品を変更しない。

改造	火災・感電・落下してけがの原因。

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かない。

可燃物	火災の原因。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●屋外や湿気の多い場所で使用しない。

湿気禁止	この器具は非防水です。 火災・感電の原因。

●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらない。

接触禁止	高温になっています。 やけどの原因。

●温度の高い場所では使用しない。

高温禁止	暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しない。火災の原因。 この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。

●調光器が取り付いた配線で使用しない。

調光器配線組合せ禁止	この器具は、調光器が取り付いた配線での使用はしない。 器具や調光器からうなり音が発生したり、正常に点灯しない原因。 調光器の取りはずしを電気工事店に依頼する。 (※素人工事は法律で禁じられています。)

●交流100V以外の電圧で使用しない。
定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因。

●天井の材質や構造によっては天井面が変色する場合があります。

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

故障かな？と思ったら

症　状	確　認	処　置
ランプが点灯しない	●壁スイッチが切れていませんか？ ●ランプがソケットにきちんと挿入されていますか？ ●ランプが切れていませんか？	●壁スイッチを入れてください。 ●ランプソケット部を確かめてください。 ●新しいランプと交換してください。
	●もう一度壁スイッチ操作をしてください。	
リモコンがきかない (器具の近くで操作してもきかない)	●壁スイッチがOFFになっていませんか？ ●リモコンの電池が消耗していませんか？ ●電池が正しく入っていますか？ ●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていますか？ ●近くに別のインバータ器具や赤外線を発しているものがありませんか？ ●送信部および受信部が汚れていませんか？ ●消灯状態で明るさ▲をおしていませんか？ ●ＣＨ２でおやすみタイマーが操作されていませんか？	●壁スイッチをONにしてください。 ●新しい電池と交換してください。 ●電池を正しく入れてください。 ●チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。 ●器具間を離すか他の器具をOFFにして確認してください。 ●汚れを拭きとってください ●消灯状態からは点灯しません。いったん蛍光灯を点灯させてから操作してください。 ●リモコンと本体のチャンネルをＣＨ１に切り替えて操作してください。
なおリモコンがきかない	●リセット処置 壁スイッチでいったん電源を切る。	

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！

ご使用の際、こんな症状はありませんか？	●コゲくさい臭いがする ●ランプを取りかえても正常に点灯しない ●器具に触れるとピリピリと電気を感じる ●その他の異常や故障がある	▶ ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店にご相談ください。

保証について

○保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。
※ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。

○保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

○保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
1.お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
2.施工上の不備に起因する故障や不具合
3.使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
4.車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
5.火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
6.日本国内以外での使用による故障および損傷
7.法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

アフターサービスについて

○修理を依頼されるとき
1.保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えて、お買上げ販売店までお申し出ください。
2.保証期間を過ぎている場合
お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

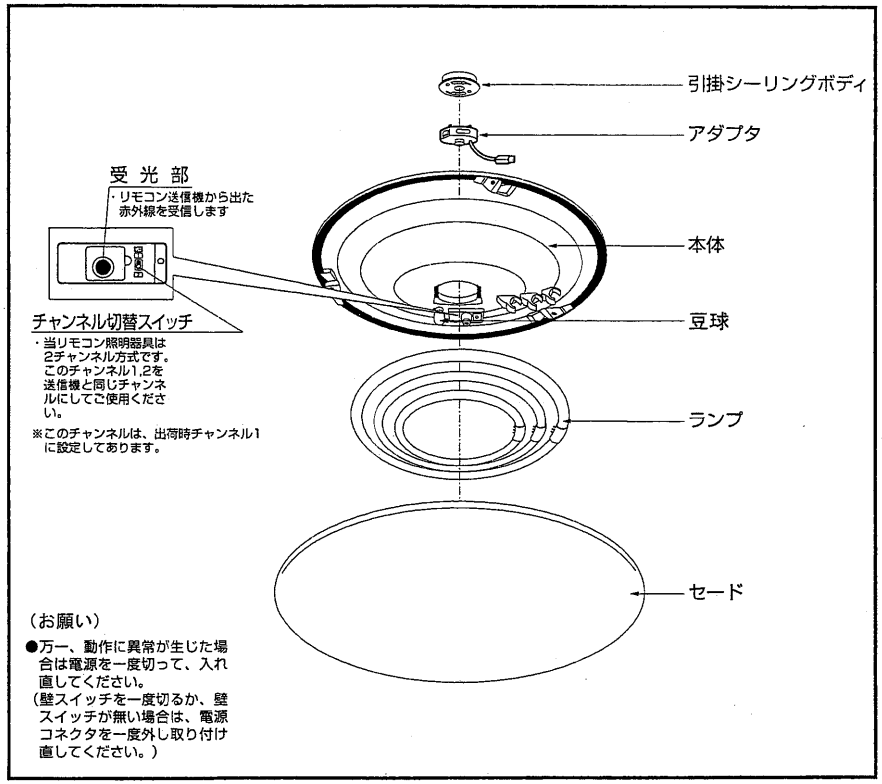
○補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

○アフターサービスについてご不明な点(修理・取扱いのご相談)は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合、
1.修理のお問合わせは、「修理窓口」へ
東日本フロントセンター ☎(03)3424-1111 東京都世田谷区池尻3-10-3
西日本フロントセンター ☎(06)6454-3901 大阪市北区大淀中1-4-13
フリーダイヤル FAX(0120) 56-8634
2.その他のお問合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さま相談センター(フリーコール)
FAX (0120)139-365　東京都世田谷区池尻3-10-3

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

各部のなまえ

※この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。



(お願い)
●万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチが無い場合は、電源コネクタを一度外し取り付け直してください。)

仕様

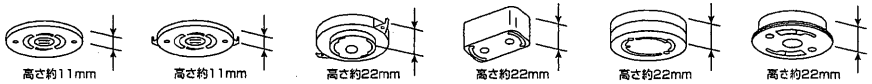
器　具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力(器具)	待機電力	適合ランプ
86W形	AC100V	50/60Hz共用	77W	1W以下	FHC27、FHC34 豆球100V5W
114W形	AC100V	50/60Hz共用	92W	1W以下	FHC20、FHC27、FHC34 豆球100V5W

お願い	ＬＥＤ豆球は、使用しないでください。 照明器具が故障するおそれがあります。

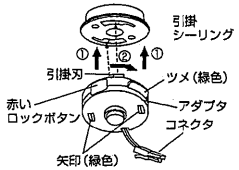
器具の取り付けかた　※取り付けの際は必ず電源を切る。

❶ 天井の配線器具を確認する

器具を取り付ける天井に図のような引掛シーリングボディが取り付けられているか確認してください。
・取付可能な配線器具（JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングに適応できます。）



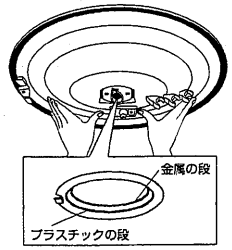
❷ アダプタを取り付ける



① 引掛シーリングへ2本の引掛刃を挿入します。
② “カチッ”と音がするまで右に回します。

⚠注意	赤いロックボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認する。 アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因。

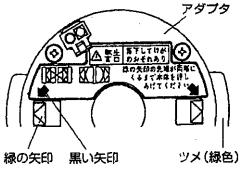
❸ 本体を取り付ける　※本体裏面のねじ先端部に触れないように注意してください。強く触れるとけがの原因。



※安全のためランプは取りはずしてから、本体を取り付けてください。
① 本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの
位置をあわせて“カチッ”と音がするまで
本体をまっすぐに押し上げます。
※コードをはさみ込まないように注意してください。

埋込引掛シーリングの場合　（高さ約11mm）
1段階押し上げてアダプタのツメ（緑色）を本体の金属の段に取り付けてください。

角形・丸形引掛シーリングの場合　（高さ約22mm）
2段階押し上げてアダプタのツメ（緑色）を本体のプラスチックの段に取り付けてください。



② 本体固定時、緑の矢印の先端が両端にくるまで押し上げてください。

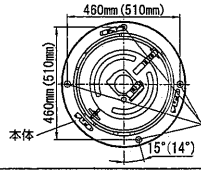
⚠警告	黒い矢印の先端に緑の矢印の先端がくるまで本体を押し上げる。 本体の取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因。

※器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。
（天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。）

本体を木ねじで固定する場合

本体が安定しない場合や傾斜天井（45度以下）に取り付ける場合は、**木ねじ**で固定してください。**木ねじ**で固定する場合は4箇所（4本）とも固定してください。

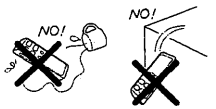
※木ねじは付属しておりません。



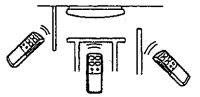
本体ノックアウト（4箇所）を本体裏面からドライバー等で打ち抜きます。

※（ ）内は１１４Wの場合

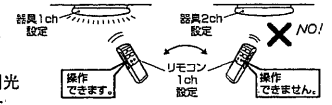
リモコン使用上のお願い



●付属のリモコン送信機は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
●リモコンは壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
●リモコン送信機で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1Wの電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電を心がけてください。
●リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
●リモコン送信機の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。



●天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
●リモコン送信機の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
●この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に作動しないときがあります。
●点灯直後、全灯時や調光時、リモコンで切替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切替えてください。
●リモコンで消灯した場合、停電が発生した際にブルスイッチレス機能が働き全灯点灯などになることがあります。
●1つのリモコン送信機はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。
2台の照明器具を1つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。



●冬場など周囲温度が低い時、点灯直後、リモコン送信機での連続調光『あかるさ▼ ▲』ボタンでの長押し操作がききにくい場合があります。
その場合は、『あかるさ▼ ▲』ボタンを長押しせず、1回ずつ押しながら調光してください。
●受光部に強い光を当てないでください。
●高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
●分解しないでください。

故障ではありません

●冬場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
●ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
●器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。
雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
●調光点灯の状態で壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチでONにすると、いったん全灯点灯になった後、調光点灯となります。また消灯もしくは豆球点灯からリモコン送信機で調光点灯にする場合は、いったん全灯点灯になった後、調光点灯になります。
●器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
●電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチで消灯してください。
●リモコン送信機の『消灯』ボタンを押すと、照明器具が約1秒でフェード消灯します。
フェード消灯機能が働いている途中（約1秒間）に、再度『消灯』ボタンが連続して押された場合、消灯できなくなる場合があります。この場合は、リモコン送信機の『全灯』ボタンもしくは『常夜灯』ボタンを押してから、再度『消灯』ボタンを押してください。
●明るさを下げていくと、ランプにシマ模様が連続して発生する場合がありますが、ランプ寿命や器具に影響はありません。

ランプ寿命について

●一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯し、豆球が点灯します。
残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切ってすみやかに、すべてのランプを交換してください。

お手入れのしかた

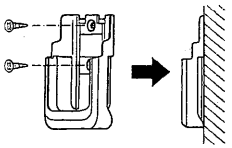
●常に明るく安全に正しく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。
●器具の汚れ（ホコリや虫など）は・・・
•和紙や布などの材質を使用した枠は、やわらかいハケでかるく掃除してください。
（お願い）ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、変質、破壊の原因となります。

⚠注意	ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切る。感電の原因。

器具の使いかた リモコンホルダーのご使用方法

●リモコン送信機の紛失を防止するため
リモコンホルダーが同梱されています。
壁面に取り付けてご使用ください。

付属の木ねじでリモコンホルダーを確実に固定してください。



お願い

●リモコンを操作する際は、リモコンホルダーからリモコン送信機をはずして照明器具に向けてご使用ください。

器具の使いかた ワンボタンかんたんタイマーを使う

おやすみタイマー

●ワンボタン操作で30分後、または60分後に蛍光灯の自動消灯ができます。
また、残り10分間は明るさがゆっくり減少します。

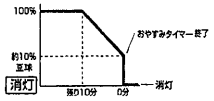
「30分」ボタンを押すと器具がピピッと2回鳴ります。
「60分」ボタンを押すと器具がピピピッと3回鳴ります。

●チャンネルの設定で、おやすみタイマー後の照明器具の状態が選べます。

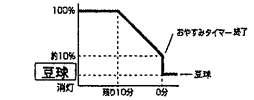
・CH1の場合:
おやすみタイマー終了後
「消灯」します。

・CH2の場合:
おやすみタイマー終了後
「豆球」が点灯します。

CH1の場合



CH2の場合



※「全灯」「段調光」「常夜灯」「消灯」のいづれかを操作すると解除されます。
※約10%の調光点灯では蛍光灯の明るさは減少しません。
※豆球が点灯している状態で、おやすみタイマーのボタンを押した場合は、CH1、CH2とも30分後(または60分後)に消灯します。(明るさはゆっくり減少しません。)

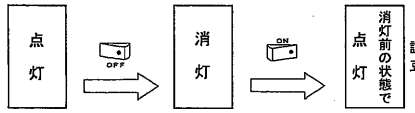
ポイント 出荷時は本体側、リモコンともにCH1に設定されています。設定を変更する場合は、本体とリモコンの両方のチャンネルを変更してください。

器具の使いかた 壁スイッチで操作する

・カベコン機能・・・ この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。器具本体内蔵のマイコンが、1秒以内の電源遮断を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」をはたらかせます。

●壁スイッチをONすると、消灯前の状態で点灯します。

点灯と消灯

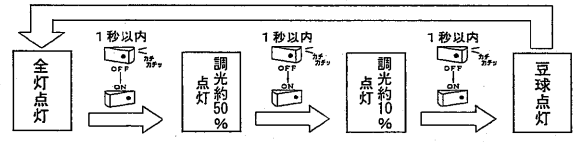


調光でOFFすると、調光で点灯します。
豆球でOFFすると、豆球で点灯します。

※リモコンで消灯した後に壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチをONすると豆球点灯となります。
壁スイッチまたはリモコンで点灯状態を切り替えてください。
※壁スイッチをいったんOFFして、1.5秒以上後に再度壁スイッチをONするとOFFする前の照明器具の点灯状態で点灯します。蛍光灯および豆球の点灯状態(調光点灯)をバックアップします。

●壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONにすると、下記の順序(⟹)で切り替わります。

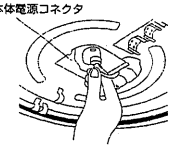
点灯状態の切り替え



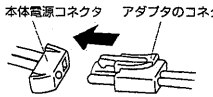
・1個の壁スイッチで2台以上のカベコン機能の器具を操作することはお避けください。同時に切り替わらない場合があります。
・リモコンで消灯した場合、停電が発生した際、カベコン機能がはたらき、全灯点灯などになることがあります。
・カベコン機能付き器具は、壁スイッチと併用してお使いください。

4 コネクタを接続する

本体電源コネクタ

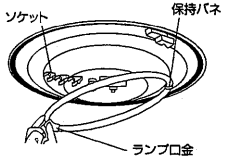


アダプタのコネクタを本体電源コネクタに差し込みます。



⚠注意	抜けないことを確認する。

5 ランプを取り付ける



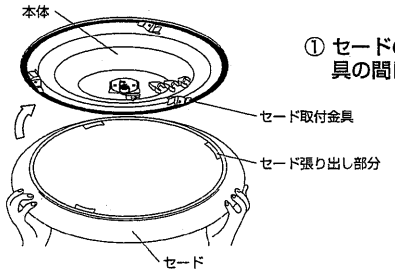
・本体に大きいランプから順に取り付けます。
① 保持バネ
② ソケット
の順で取り付けます。

※出荷時にランプは本体に取り付けられています。

⚠警告	適合ランプ以外は使用しない。感電または火災の原因。
⚠注意	ランプの口金は、無理に回さない。破損の原因。
⚠注意	ランプをソケットに確実に取り付ける。取り付けが不十分な場合、豆球点灯になり、ランプが正常点灯しません。火災の原因。

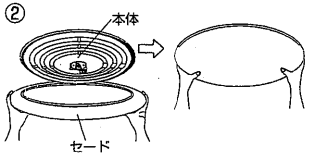
6 セードを取り付ける

①



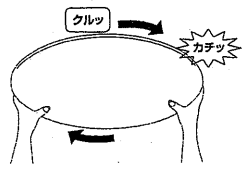
① セードの張り出し部分をセード取付金具とセード取付金具の間にセットしてください。

②



② セードを持ち上げます。

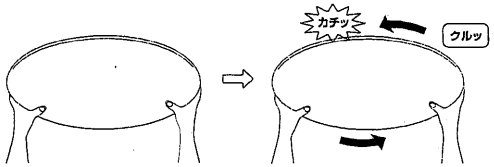
③



③ “カチッ”と音がするまで、セードを右に回してください。
セードを軽く引っぱって外れないことを確認してください。

⚠警告	セードを本体に確実に取り付ける。 全てのセード取付金具にセードが取り付いたことを確認する。 取り付けが不十分な場合、落下の原因。

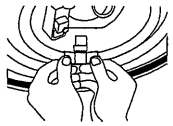
セードのはずしかた



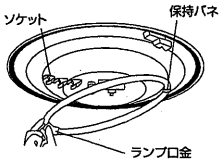
"カチッ"と音がするまで、セードを左に回してください。

ランプの交換方法 ※ランプ交換の際は必ず電源を切る。

●ランプ口金付近のガラス管が少し黒くなったり、光が弱くなりましたら早めに交換してください。
ランプの寿命がくると器具の保護回路がはたらき、すべての蛍光ランプが消灯し豆球が点灯します。
ランプ交換の際は、適合ランプをご指定ください。



ランプ内側に、両手を添えて押すとランプがはずれます。



小さいランプからはずしてください。
① ソケット
② 保持バネ
の順で取りはずします。

器具のはずしかた

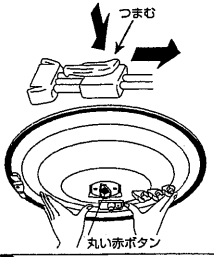
① セードをはずす

上記「セードのはずしかた 」を参照してください。

② ランプをはずす

上記「ランプの交換方法 」を参照してください。

③ 本体をはずす

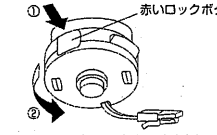


① アダプタのコネクタを電源コネクタからはずします。
※コネクタをつまみながら引き抜いてください。

② 両手で本体を押しあげながら中央にある電源アダプタの丸い赤ボタンを押してください。

⚠注意	本体は必ず両手でささえながら、はずす。 本体をささえないで本体をはずすと、本体が落下してけがの原因。

④ アダプタをはずす



赤いロックボタンを①矢印方向に押したまま、②左方向に回してください。

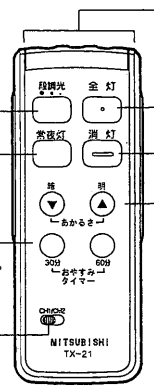
赤いロックボタンを押したまま左に回してください。

器具の使いかた

器具の使いかた リモコンを使って操作する

■各部の名前とはたらき

リモコン送信機 TX−21



LED送信部
器具操作の信号がでます。

《段調光》ボタン
照明器具が約70%→約50%→約10%順送りで調光点灯します。

《常夜灯》ボタン
照明器具が豆球点灯します。

《おやすみタイマー30分／60分》ボタン
照明器具が30分（または60分）後に蛍光灯が消灯します。
残り10分間は蛍光灯の明るさがゆっくり減少します。

《CH切替》スイッチ
操作する照明器具のチャンネルを選択します。

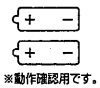
《全灯》ボタン
照明器具が全灯点灯します。

《消灯》ボタン
照明器具が約1秒でフェード消灯します。
※明るさ約10%点灯時からのフェード消灯はありません。

《あかるさ ▼▲》ボタン
照明器具の明るさが変わります。
・蛍光灯:100%～約10%
・豆球:6段階
の明るさの調整ができます。
※長押しすると連続的に調整できます。
※消灯から▲ボタンを押しても点灯しません。ランプを点灯させてから、明るさを調整してください。

※リモコン本体の前面には保護シート（透明）が貼ってあります。

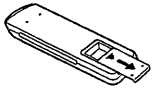
■リモコン送信機付属品

単4乾電池（2本）	リモコンホルダー	取付用木ねじ（2本）
		
※動作確認用です。		

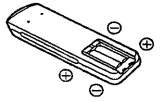
器具の使いかた リモコンを準備する

① 乾電池を入れる

①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。



②単4乾電池を表示にあわせて極性+−をまちがえないように入れて、カバーを閉めてください。

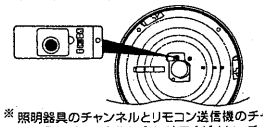


お願い
●乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。 ●長期にわたり、リモコン送信機を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信機をいためる原因となります。

リモコン送信機の平均電池寿命は1日10回の使用の場合約1年間が目安です。

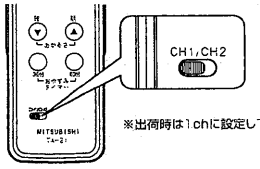
② チャンネルを合わせる

①照明器具のセードを外します。
例:1ch設定する場合照明器具のチャンネルを1にします。



※照明器具のチャンネルとリモコン送信機のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。チャンネルが合っていないと操作できません。

②リモコン送信機のチャンネルを1に合わせます。



※出荷時は1chに設定してあります。